

「広報さつま」2018年12月号に、本校生徒の記事が掲載されましたので紹介します。

作製した町章を手にする坂下さん（左）と受け取った日高町長



薩摩中央高校が町章贈呈

木工技術を駆使したエンブレム

10月22日、町長応接室で薩摩中央高校から演台用の町章が寄贈されました。県内産のスギを使用し、生徒がデザインとヤスリ掛けなどを担当。台座となる板に5mm程度埋め込むことで強度を増したり、立体的にすることで目立つようにしたりなど工夫がなされています。実施委員長で3年生の坂下陸さんは「作製した町章を見てもらうことで、学校の技術力の高さを感じて欲しいです」と話されました。町章は宮之城文化センターの演台のエンブレムとして使用されます。

後輩に向けて果樹生産農家への夢を語る市山さん



中津川小で「ようこそ先輩」

地域を担う後輩へ贈る言葉

11月1日、中津川小学校で卒業生を招き講話を聴く「ようこそ先輩」が行われました。薩摩中央高校1年の市山晴菜さんは、将来の夢を発表。果樹生産農家を営む父の姿を見て芽生えた覚悟や経営への意欲を伝えました。町担い手育成支援室の寺脇伸治室長は、金吾様踊りやオリジナル焼酎販売など、特色ある地域おこし活動が定住者増加につながったことを紹介。6年の神馬場莉央さんは「先輩の話を聴いてすごいと思いました。中津川が有名になって地域の活性化につながってほしいです」と感想を述べました。

